

■情報科学研究所活動日誌（平成 18 年 1 月～12 月）

平成 18 年 3 月 16 日 第 8 回定例研究会

●竹村憲郎所員，山本崇準所員，植竹朋文所員（経営学研究科）

「高校における情報教育の現状と課題」

●小林隆所員（ネットワーク情報学部）

「BPM ソリューションへの BAM 技術の適用性」

平成 18 年 5 月 16 日 第 1 回定期総会・運営委員会

平成 18 年 5 月 23 日 第 1 回定例研究会

●香山瑞恵所員（ネットワーク情報学部）

「専修大学における教育支援システムの構想—e キャンパス検討委員会からの報告—」

平成 18 年 6 月 6 日 第 2 回定例研究会（イブニングセミナー）

●荒井清実氏（東京放送）

「最強コンテンツ“地上波”のデジタル化で切り拓く未来」

平成 18 年 6 月 20 日 第 3 回定例研究会

●上平崇仁所員（ネットワーク情報学部）

「情報メディアにおけるもう一つの双方向性—人とコンピュータの境界線の葛藤—」

平成 18 年 7 月 4 日 第 4 回定例研究会（イブニングセミナー）

●平鍋健児氏（永和マネジメント）

「プロジェクトの見える化「プロジェクト・ファシリテーション」」

平成 18 年 7 月 18 日 第 5 回定例研究会

●飯塚佳代所員（ネットワーク情報学部）

「企業の業務改革の現状と ERP について」

平成 18 年 9 月 19 日 第 6 回定例研究会（大学院学生大会）

●山本崇準所員，竹村憲郎所員（経営学研究科）

「普通高校における情報教育の現状と課題」

●穂坂奈緒美所員，竹村憲郎所員（経営学研究科）

「ネット販売におけるアクセス解析の活用と課題」

●田中裕美所員，大曾根匡所員（経営学研究科）

「ネットワーク型待ち行列システムのシミュレータの開発」

●高橋正憲所員，魚田勝臣所員（経営学研究科）

「情報リテラシ授業における自主的発言の促進を意識した授業実践」

平成 18 年 11 月 14 日 第 2 回定期総会・運営委員会

平成 18 年 12 月 19 日 第 7 回定例研究会

●小沢一郎所員（経営学部）

「進化的イノベーション・モデルについて—写真システムの進化を題材として—」

平成 18 年 12 月 21 日 シンポジウム：「情報システム業界の現状と課題」

●永井麻紀子氏（ハマゴムエイコム）

「SEってなあに？ 超入門塾!! ～学生時代にやっておくこと～」

●遠藤明氏（富士通）

「夢をかたちに」

■共同研究助成 (平成 18 年度)

- ①「数理計画法によるモデリングに関する研究」
渡辺展男所員, 宇佐美嘉弘所員
- ②「デジタル音楽コンテンツの次世代検索手法の研究」
小林隆所員, 綿貫理明所員
- ③「教育成果公開と産学連携に向けた展示会出展プランニング」
上平崇仁所員, 香山瑞恵, 小林隆所員
- ④「シミュレーション分析結果とデータの公開に関する研究」
小島崇弘所員, 岩尾詠一郎所員, 内野明所員
- ⑤「ネット販売におけるアクセス解析と PPC 広告の活用」
竹村憲郎所員, 大曾根匡所員, 植竹朋文所員

■刊行物 (平成 18 年 1 月～12 月)

◆年報「情報科学研究 第 26 号」(平成 18 年 2 月発行)

- ①「情報科学研究所と私—情報科学研究所の過去・現在・将来—」
藏下勝行参与 (名誉教授)
- ②「携帯電話を用いた授業支援システムの開発」(論文)
大曾根匡所員
- ③「Baseline-Category Logit Model の特性と利用」(論文)
朝野熙彦準所員 (首都大学東京)
- ④「大学における知識情報システムの構築とその課題」(論文)
松永賢次所員
- ⑤「問題解決型学習を指向した導入教育モデルの構築と実施—専修大学経営学部における学習共同体「TAEN」の効果について」(論文)
永田奈央美準所員, 高橋正憲準所員, 香山瑞恵所員, 魚田勝臣所員
- ⑥「NUOPT による最適化モデルの開発 (I)」(資料)
齋藤雄志所員

◆所報「専修大学情報科学研究所所報 第 65 号」(平成 18 年 3 月発行)

- ①「産学連携による IC タグを用いた教材開発と演習実践」
上平崇仁所員, 香山瑞恵所員, 江原淳所員
- ②「アジアでの e-Learning への取り組み (1)—Asia e-Learning Network 関連諸国における e-Learning 関連アワード報告—」
香山瑞恵所員

◆欧文誌「Information Science and Applied Mathematics, Vol. 13」(平成 18 年 3 月発行)

- ①「Construction and evaluation of IS-BoardII to support information sharing for information education」
Tomofumi UETAKE, Yoshihisa SHINOZAWA
- ②「A Paper on the Twin Prime Conjecture」
Minoru TANAKA, Kaoru TANAKA